

2022年1月16日 午前礼拝
「神様は靈的な存在です」 説教:大木英雄牧師

【引用聖句】

ヨハネ 4:24

ヨハネ 4:24, 神は靈ですから、神を礼拝する者は、靈とまことによって礼拝しなければなりません。」

【説教要約】

(A)神様と人間は靈的な存在です。

ヨハネ 4:24, 神は靈ですから、神を礼拝する者は、靈とまことによって礼拝しなければなりません。」

人間も靈的な存在です。

1テサロニケ 5:23, 平和の神ご自身が、あなたがたを全く聖なるものとしてくださいますように。主イエス・キリストの来臨のとき、責められるところのないように、あなたがたの靈、たましい、からだは完全に守られますように。

人間は、靈、魂、体から構成されています。体は、目に見えますが、魂は、目に見えません。心も存在しますが、目に見えません。靈も存在しますが、目に見えません。電波が、目に見えなくても存在するように、靈も存在します。

創世記 1:26, 神は仰せられた。「さあ人を造ろう。われわれのかたちとして、われわれに似せて。彼らが、海の魚、空の鳥、家畜、地のすべてのもの、地をはうすべてのものを支配するように。」

創世記 1:27, 神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして彼を創造し、男と女とに彼らを創造された。

神様は、キリストに似るように人間を創造されました。なんと感謝なことではありませんか。神様は、靈ですから、神様に目が有ったり耳が有ったり、手や足があるというわけではありません。神は靈ですから、神を礼拝するものは、靈とまことによって、礼拝しなければなりません。

(B)神様の靈と人間の靈はつながっていました。

神様は、最初に造られたアダムとエバをエデンの園に置かれました。エデンの園では

- ① 神様の靈と人間の靈はつながっていました。
- ② アダムとエバは互いに愛し合っていました。
- ③ 経済的な問題は何もありませんでした。

- ④ 病気もありませんでした。
- ⑤ 死もありませんでした。

アダムとエバは、エデンの園で誠に幸せでした。神様は、この幸せが続くために1つの命令を出されました。最初の命令は、原則を表しています。

創世記 2:17, しかし、善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べるその時、あなたは必ず死ぬ。」

(C)神様の霊と人間の霊が切れてしまった。

善悪の知識の実をとって食べなければ、永遠に幸せは続いたのです。ところが、悪魔がアダムとエバを誘惑して、神様の命令を破らせたのです、

創世記 3:5, あなたがたがそれを食べるその時、あなたがたの目が開け、あなたがたが神のようになり、善悪を知るようになることを神は知っているのです。」

創世記 3:6, そこで女が見ると、その木は、まことに食べるのに良く、目に慕わしく、賢くするといふその木はいかにも好ましかった。それで女はその実を取って食べ、いっしょにいた夫にも与えたので、夫も食べた。

悪魔は、自分が神のようになるという誘惑に負けたので、アダムとエバにも同じ誘惑をしたのです。アダムとエバは悪魔の誘惑に負けて、善悪の知識の木から実をとって食べてしまったのです。その結果、

創世記 2:17, しかし、善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べるその時、あなたは必ず死ぬ。」

聖書で死ぬとは、神様の霊と人間の霊とが切れることを言います。アダムとエバの霊が、神様の霊とが切れただけではなく、全人類の霊と神様の霊とが切れてしまったのです。

ローマ 5:12, そういふわけで、ちょうどひとりの人によつて罪が世界にはいり、罪によつて死がはいり、こうして死が全人類に広がつたのと同様に、…それといふのも全人類が罪を犯したからです。

アダムとエバと神様との霊的な関係が切れてしまったことを認めるとしても、私は、善悪の知識の実を食べていません。どうして私まで神様との関係が切れてしまうのですか？

アダムとエバは、全人類の代表なのです。かつて日本は、中国と戦争をして、中国人にひどいことをしてきました。確かに中国との戦争を決めたのは、日本の国の代表が決めたことです。代表が、決めたことだから、「私は中国人に謝る必要はない」とは言えないのです。確かに代表が決めたことですが、日本国民として中国にひどいことをしたことは謝るべきです。

それと同じようにアダムとエバが犯した罪ですが、アダムとエバは、全人類の代表ですから、アダムとエバが犯した罪の責任を全人類も取らなければなりません。アダムとエバが、罪を犯した結果、全人類も罪の責任を負わなければなりません。神様との霊的な関係が切れてしまったのです。その結果神様が、エデンの園でアダムとエバに与えた祝福はなくなったのです。

- ① 神様との霊的な関係は切れてしまいました。
- ② 人間は、互いに愛し合うことが出来なくなりました。アメリカでは、2組に1組が離婚しています。日本でも3組に1組が離婚しています。
- ③ 経済的に厳しくなりました。アフリカでは、食べ物がなくて飢えている子供が大勢います。
- ④ 病気の人が増えています。病院は病人であふれています。
- ⑤ 人間は、必ず死にます。

ヘブル 9:27, そして、人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっているように、

神様との霊的な関係が切れてしまった全ての人は死にます。死ぬだけではなく死後に神様から裁きを受けなければなりません。これは死んで三日目に蘇ったキリストの言葉です。

ヨハネ 11:25, イエスは言われた。「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。

イエス・キリストは、私たちの罪の身代わりとして十字架で死なれましたが、三日目に死人の中から蘇られました。一度死んで蘇られた方が、「死後、神の裁きがある」と言っているのですから、死後、神の裁きがあることは間違いないことです。

ルカ 24:36, これらのことを話している間に、イエスご自身が彼らの真中に立たれた。

ルカ 24:37, 彼らは驚き恐れて、霊を見ているのだと思った。

イエス・キリストが、死人の中から蘇られて弟子たちにお会いした時、弟子たちは、イエス・キリストの幽霊だと思いました。これは、当然です。今まで死んで蘇られた人は、一人もいないのです。から、

ルカ 24:38, すると、イエスは言われた。「なぜ取り乱しているのですか。どうして心に疑いを起こすのですか。

ルカ 24:3, わたしの手やわたしの足を見なさい。まさしくわたしです。

わたしに触って、よく見なさい。霊ならこんな肉や骨はありません。わたしは持っています。」

イエス様は、弟子たちにご自分の「手や足に触って見なさい」と言われました。ここで面白いのは、日本の幽霊には手や足はありませんが、イスラエルの幽霊にも手や足がないことで

す。

ルカ 24:40, [本節欠如] 脚注 = イエスはこう言われて、その手と足を彼らにお示しになった。

ルカ 24:41, それでも、彼らは、うれしさのあまりまだ信じられず、不思議がっているので、イエスは、「ここに何か食べ物がありますか。」と言われた。

ルカ 24:42, それで、焼いた魚を一切れ差し上げると、

ルカ 24:43, イエスは、彼らの前で、それを取って召し上がった。

それでも弟子たちは、イエス様がよみがえったことを信じられずにいたので、イエス様は、「ここに何か食べ物がありますか」と尋ねられました。

弟子たちが、焼き魚を差し上げると、みんなの見ている前で焼き魚を召しあがられました。焼き魚を食べる幽霊はいませんので弟子たちも、やっとイエス様がよみがえられたことを信じました。

使徒 1:3, イエスは苦しみを受けた後、四十日の間、彼らに現われて、神の国のことを語り、数多くの確かな証拠をもって、ご自分が生きていることを使徒たちに示された。

イエス様は、よみがえられた後、40日間も弟子たちと共におられた、イエス様が死人の中から三日目に蘇られたことは、とても重要なことです。

十字架で私たちに罪の身代わりとして死なれ三日目に蘇られたキリストが、「死後、神の裁きがある」と言っているのです。

(E) 神様の霊と人間の霊をつなぐ方法

創世記 2:17, しかし、善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べるその時、あなたは必ず死ぬ。」

アダムとエバが、神様の命令を破った結果、神様の霊と人間の霊は切れてしまった。神様の命令を破ることを罪と言います。その罪が赦されることによって神様の霊と人間の霊はつながれます

ヘブル 9:22, それで、律法によれば、すべてのものは血によってきよめられる、と言ってよいでしょう。また、血を注ぎ出すことがなければ、罪の赦しはないのです。

旧約聖書では、子羊の血を流すことによって罪が赦されました。新約聖書では、神の御子イエス様の血によらなければ罪の赦しはないのです。

Iヨハネ 1:7, しかし、もし神が光の中におられるように、私たちも光の中を歩んでいるなら、私たちは互いに交わりを保ち、御子イエスの血はすべての罪から私たちをきよめます。

キリストが十字架で流された血は、「私達の罪の身代わりであった」と信じるだけで、私たちの罪は赦され、神様と私たちの霊的な関係は回復されるのです。

今は、アクワラングで海にもぐる時、酸素ボンベを背中に背負って、自由に潜ることが出来ます。酸素ボンベがなかった時代は、船の上で海に潜っている人に空気を送る人が、ポンプをこいで空気を送ったのです。もし船の上のポンプからの海に潜っている人をつなぐパイプが切れたら、海に潜っている人は死ぬのです。

これと同じように、神様の霊と人間の霊の関係が切れたら人間は死ぬのです。この切れた関係を回復するためにキリストは十字架で私たちの罪の身代わりとして血を流してくださいました。【キリストは私たちの罪の身代わりとして血を流された】と信じるだけで罪が赦され、神様の霊と人間の霊は回復されるのです。

(F)人間の霊が神様の霊とつながれているのに、人間は神様との関係よりも人間との関係を大切にすることで、悪魔に誘惑されてしまいます。人間はみな自己中心です。自己中心な人は悪魔に誘惑されます。神様との関係を強くする方法はデボーションです。

マルコ 10:35~45

35, さて、ゼバダイのふたりの子、ヤコブとヨハネが、イエスのところに来て言った。「先生。私たちの頼み事をかなえていただきたいと思います。」

36, イエスは彼らに言われた。「何をしてほしいのですか。」

37, 彼らは言った。「あなたの栄光の座で、ひとりを先生の右に、ひとりを左にすわらせてください。」

38, しかし、イエスは彼らに言われた。「あなたがたは自分が何を求めているのか、わかっていないのです。あなたがたは、わたしの飲もうとする杯を飲み、わたしの受けようとするバプテスマを受けることができますか。」

39, 彼らは「できます。」と言った。イエスは言われた。「なるほどあなたがたは、わたしの飲む杯を飲み、わたしの受けるべきバプテスマを受けはします。」

40, しかし、わたしの右と左にすわることは、わたしが許すことではありません。それに備えられた人々があるのです。」

41, 十人の者がこのことを聞くと、ヤコブとヨハネのことで腹を立てた。

42, そこで、イエスは彼らを呼び寄せて、言われた。「あなたがたも知っているとおおり、異邦人の支配者と認められた者たちは彼らを支配し、また、偉い人たちは彼らの上に権力をふるいます。」

43, しかし、あなたがたの間では、そうではありません。あなたがたの間で偉くなりたいと思う者は、みなに仕える者になりなさい。

44, あなたがたの間で人の先に立ちたいと思う者は、みなのもちべになりなさい。

45, 人の子が来たのも、仕えられるためではなく、かえって仕えるためであり、また、多くの人のための、贖いの代価として、自分のいのちを与えるためなのです。」

【説教:大木英雄牧師】